



2015年4月1日-2015年9月30日



た ケル株式会社

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、日頃より格別の で高配を賜り厚くお礼申しあげます。

第54期第2四半期連結累計期間(2015年4月1日から2015年9月30日まで)の報告書をお届けするにあたり、日頃の皆様の温かいご支援に対し心からお礼申しあげます。

今年度は、基本方針を「新製品開発・新市場創出を通じて、持続的な利益ある成長を目指す」とし、運営方針である「①コネクタ・ハーネス・ラックの3事業を継続する。②工業・車載・遊技・画像・医療機器を注力市場とする。③全売上高の30%以上を新製品売上高で構成する。④ケル上海・ケル台湾の機能強化を図りアジア市場の開拓を促進する。」を推し進め、確実な成長の実現に向けた活動に努めました。

また、当社グループは注力市場の動向を見極めた受注活動を展開するとともに、生産性の向上に

よるコスト削減等に取り組み、企業基盤のさらなる強化に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上 高は49億51百万円(前年同四半期比4.4%増)、 利益面につきましては営業利益5億52百万円(同 7.2%増)、経常利益5億51百万円(同2.1%減)、 親会社株主に帰属する四半期純利益3億51百万円 (同7.2%減)となりました。

顧客活動の質・量を上げ商談発掘、商談成約を 推進し、市場活動の中でオンリーワン製品の開発 を行い、生産性向上を図ることにより、競争力・ 収益力を高め、中長期的に成長し続けることがで きる企業となれるよう努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層の で支援ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

2015年12月

経営成績

画像機器市場・遊技機器市場の受注活動の 成果もあり、売上高増加

- 工業機器市場、車載機器市場減収も画像機器市場、遊技機器 市場の増収により、売上高前年同四半期比4.4%増加
- ・コネクタ売上高前年同四半期比6.8%増加
- ・ラック売 ト高前年同四半期比6.1%減少
- 経常利益については、前年に営業外収益があったこともあり、 前年同四半期比2.1%減少



通期の見通し

新製品開発・新市場創出を通じて、持続的な利益ある成長を目指す

- コネクタ・ハーネス・ラックの3事業を継続する。
- 工業・車載・遊技・画像・医療機器を注力市場とする。
- 全売上高の30%以上を新製品(3年間)売上高で構成する。
- ・ケル上海・ケル台湾の機能強化を図りアジア市場の開拓を促進する。

2016年3月期 連結業績予想

売	١	E	高	10,200	百万円	(前期比	3.8 %)
営	業	利	益	1,120	百万円	(前期比	0.4 %)
経	常	利	益	1,130	百万円	(前期比	1.3 %)
親会社株主に帰属する当期純利益			純利益	700	百万円	(前期比 /	△12.2 %)

市場別の状況

工業機器

制御装置 半導体製造装置 車輌機器





売上高構成比 23.9% 前第2四半期比 6.5%減

中国など新興国経済に減速が見られ、また設備投資需要の減退等により、半導体製造装置、制御装置向け製品の販売が減少したことにより、売上高は11億84百万円(前年同期比6.5%減少)となりました。

遊技機器

パチンコ パチスロ





売上高構成比 23.3% 前第2四半期比 33.2%增

遊技機器市場の市場環境は依然として厳しいが、新台の受注獲得活動の成果により、売上高は11億55百万円(前年同期比33.2%増加)となりました。

画像機器

デジタルカメラ デジタルビデオカメラ 監視カメラ





売上高構成比 17.6% 前第2四半期比 9.0%增

セキュリティ強化、画像分析等の監視カメラ需要の 増加を受け、売上高は8億73百万円(前年同期比 9.0%増加)となりました。

車載機器

カーナビ ITS関連





売上高構成比 8.0% 前第2四半期比 6.8%減

カーナビ等が中国産等の低価格製品販売増加の影響を受けたこと等により、売上高は3億94百万円(前年同期比6.8%減少)となりました。

医療機器

超音波診断装置 内視鏡 MBI





売上高構成比 9.0% 前第2四半期比 0.1%減

スペックイン活動が結実し、新たに血液分析装置等で製品の採用があったが、他機器向け製品の販売が減少したことにより横ばいで推移し、売上高は4億44百万円(前年同期比0.1%減少)となりました。

その他 複写機他



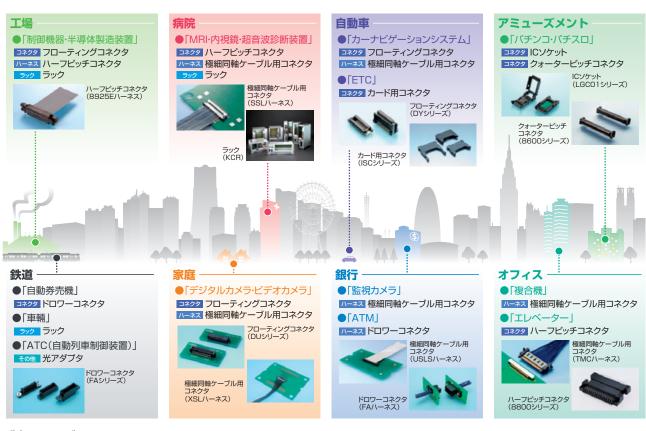


売上高構成比 18.2% 前第2四半期比 4.1%減

売上高は9億1百万円(前年同期比4.1%減少)となりました。

事業・製品概要

当社の製品は生活のさまざまなシーンで使用されています。



製品カテゴリー

コネクタ

小型化、高密度化、高速伝送対応等を生かした 開発コンセプトで、充実したバリエーションと 多彩なシリーズを展開しています。



ラック

標準バスラックシステムを中心に、オリジナルラックシステムの開発にも柔軟に対応しています。



ハーネス

フラットケーブル、丸ケーブル、ディスクリートケーブルなど、さまざまなケーブルを使用したハーネスの開発を行っています。



その他

光アダプタやASSY治具(圧接、圧着等)を製造しています。また、 コネクタの抜き治具等の開発も行っています。

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

コーポレート・ガバナンスの充実は企業の成長に欠かせない重要課題として捉えており、経営の公正性・透明性・迅速性を確保し、より実効性の高いコーポレート・ガバナンスの確立に取り組んでおります。

- ●株主の権利を尊重し、平等性の確保に努める。
- ●株主・顧客・取引先・社員・地域社会等のステークホルダーの利益を考慮し、適切な協働に努める。
- ●会社情報、経営目標の達成状況を適切に開示し、経営の透明性を確保する。
- ●取締役3人以上(うち社外取締役が過半数)で構成される監査等委員会の監査・監督により取締役会の機能強化を図る。
- ●株主との建設的な対話を促進するための体制整備に努め、かつ、株主の意見が取締役会に共有されるよう努める。

コーポレート・ガバナンス体制

(取締役会)

取締役会は、意思決定と実行の機動性を重視し、社外取締役2名を含む7名の取締役で構成され、月1回の定時取締役会の開催に加え、重要案件が生じたときには臨時取締役会を都度開催しております。付議内容は、月次の業績および取締役会規程に定められた経営判断事項で、迅速な意思決定ができる体制を整えております。

(監査等委員会)

監査等委員会は、取締役3名で構成しており、うち2名を社外取締役としております。監査等委員会を構成する取締役である監査等委員は、監査等委員以外の取締役の選任・解任等や報酬等について、株主総会において監査等委員会の意見を述べる権利があり、業務執行取締役から一定程度独立した立場で、適正に取締役の業務執行の監督を行うことができます。また、取締役会において決定された、内部監査を含む内部統制システムの各体制を通じ、経営全般に亘る取締役による業務遂行を監査しております。必要に応じ内部監査部門に監査や改善提案等の指示を行い、この直

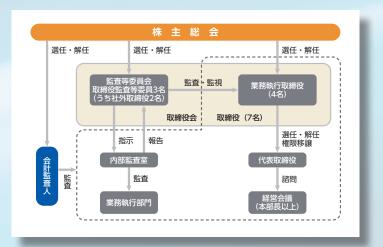
接の指示により、監査等委員会と内部監査部門が連携し、より実効的に両者の監査が行える体制としております。

(経営会議)

経営会議は、本部長以上の社員と取締役で構成され、 毎月1回の定例会議と必要に応じて行われる臨時会 議によって、経営判断が的確に伝達され速やかに実 行されるよう活発な意見交換が行われております。

(内部監査の状況)

代表取締役社長の直轄組織として、内部監査室を設け、スタッフ2名を配置し、経営目標の達成に向けた効率的・効果的な業務遂行と最高経営責任者として社長が認識するビジネス・リスク等のコントロールのため、受査部門への直接の調査・報告聴取を含む監査を行っております。



四半期連結財務諸表(要約)

四半期浦结貸供対照事

四十期建結員信刈照衣 (単位: 千円)				
科目	前期末 (2015年3月31日現在)	当第2四半期末 (2015年9月30日現在)	増減金額	
<資産の部>				
流動資産	8,134,649	7,932,499	△ 202,150	%1
固定資産	6,266,126	6,094,842	△ 171,284	
有形固定資産	4,721,226	4,616,017	△ 105,209	
無形固定資産	68,823	63,995	△ 4,828	
投資その他の資産	1,476,075	1,414,829	△ 61,246	
資産合計	14,400,775	14,027,341	△ 373,434	
<負債の部>				
流動負債	3,152,369	2,745,701	△ 406,668	%2
固定負債	788,524	704,566	△ 83,958	
負債合計	3,940,893	3,450,267	△ 490,626	
<純資産の部>				
株主資本	10,177,907	10,339,784	161,877	
その他の包括利益累計額	281,974	237,289	△ 44,685	
純資産合計	10,459,881	10,577,073	117,192	
負債純資産合計	14,400,775	14,027,341	△ 373,434	

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(単位:壬四)

科目	前第2四半期 (2014年4月1日~ (2014年9月30日)	当第2四半期 (2015年4月1日~ (2015年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	738,090	520,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 86,938	△ 314,441
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 238,119	△ 312,807
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 7,173	△ 546
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	405,858	△ 107,713
現金及び現金同等物の期首残高	2,314,216	3,187,539
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,720,074	3,079,826



四半期連結損益計算書



POINT

- した。
- ※2 支払手形及び買掛金ならびに未払法人税等により減少 しました。
- ※3 前期に為替差益および保険返戻金等があったため減少 しました。
- ※4 前期に助成金収入等があったため減少しました。



会社の概要・株式の状況(2015年9月30日現在)

会社概要

商 号	ケル株式会社
英 文 社 名	KEL CORPORATION
設 立	1962年(昭和37年)7月23日
資 本 金	16億1,700万円
従 業 員	285名
事業目的	電気機械器具、精密機械器具、合成樹脂製品、 化学製品、各種金属工業製品および雑貨類の 製造、売買ならびに輸出入、その他附帯業務
ホームページ	http://www.kel.jp

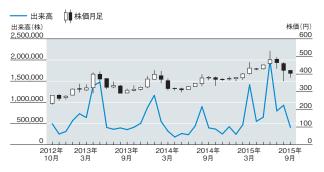
役 員

代表取締役社長	土	居 悦	郎
常務取締役	島	田	明
取 締 役	白	倉	勝
取 締 役	Ξ	國 武	幸
社 外 取 締 役 (監査等委員、委員長)	菊	地 英	俊
取 締 役 (監査等委員)	橋	本 芳	明
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員)	泉	澤大	介

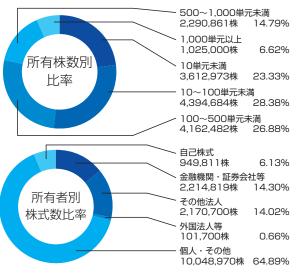
株式数および株主数

発行可能株式総数	63,000,000株
発行済株式の総数	15,486,000株
株主数	2,107名

株価の推移と出来高



株式分布状況





事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基 準 日 期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社

証券代行部 〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号電話(通話料無料)0120-232-711

单元株式数 1,000株

公 告 の 方 法 電子公告の方法により行います。

ただし、事故その他やむを得ない事 由によって電子公告をすることがで きない場合は、日本経済新聞に掲載

いたします。

(当社のホームページ

http://www.kel.jp/investor/index.html

に掲載しています。)

上場証券取引所 東京証券取引所 ジャスダック市場

ネットワーク

●本社

東京都多摩市永山六丁目17番地7 〒206-0025 TEL: 042-374-5810

●事業所

山梨事業所 山梨県西八代郡市川三郷町 長野事業所 長野県北安曇郡池田町 南アルプス事業所 山梨県南アルプス市

●営業所

宇都宮営業所 栃木県宇都宮市 水戸営業所 茨城県ひたちなか市 名古屋営業所 愛知県名古屋市中区 大阪営業所 大阪府大阪市淀川区

●駐在員事務所

北米駐在員事務所 米国カリフォルニア州

●海外子会社

旺昌電子股份有限公司(ケル台湾) 科陸電子貿易(上海)有限公司(ケル上海)

ホームページのご案内



http://www.kel.jp

最新のニュースや企業情報、製品情報など、 様々な情報をご覧いただけます。





